
恋に恋して

阪上克利

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
恋に恋して

【Nコード】
N1742Y

【作者名】
阪上克利

【あらすじ】
今までに出会ってきた女性との話を書いてみました。
恋の話もあれば、そうでないものもあります。

恋愛至上主義

1、恋愛至上主義

ボクの初恋はいつだっただろうか？

そもそも初恋というのはどういう状態を指すのか？

恋というのは魚の鯉ではなく、異性を好きになることである。

では恋人とは好きな異性のことを言うかというところとちよつと違う。この辺の定義が非常に難しいのだが、一般的に言えば、恋というのは片思いであろうが両思いであろうが、相手のことを思うと気持ちが落ち着かなくなり、その人とずっといたい、という思いである。

世の中には同姓が好きになったりする人もいるようだが、とりあえずそれはここでは枠の外に出して話すことにする。なぜかというと、ボク自身が恋愛対象として異性しか好きではないので、そういう人の価値観はまったく分からないので、同姓が好きになる人はこの枠からはずしたいと思う。

では恋人とは何か？

鯉人。

鯉のみにこだわって釣る釣師のこと・・・では断じてない。

恋人とは、恋とは対照的に、片思いでは成立しない。

一般論だが、一方方向の恋に関して、対象の異性を恋人と呼ぶのは通常はしないことだし、それが行き過ぎるとストーカーになる。だから恋人とは基本、両思いである。

では初恋というのはどういう状態を指すのか？

読んで字の如く・・・。

初めての恋だろう。

初めてだから当人はそれが恋だという感覚はないのかもしれない。

ん？

ということはボクの初恋はいつになるんだろう。

いくら考えても分からないことは考えないというのがボクの少ない長所の一つであるので、ここは忘れていこう。

もしかしたら初恋とは当人の知らないうちに終わっているものなのかもしれない。

高校時代は周りが男しかいなかったなので恋愛とは無縁の生活を送った。

この生活は中学を卒業して、社会に出て、介護の仕事に就くまで続いた。

ボクはそういう生活が嫌だと思ったことはあまりなかった。

嫌だと思うことはなかったが、無意識のうちに恋愛がしたいと思っていたのかもしれない。小説を書くようになってから、しばらくボクの小説は主人公が女性であることが多かった。

どこかで自分の好みの女性を小説の紙面で活躍させることによって、ボクは擬似恋愛をしていたのかもしれない。

自分が書いた小説を友人の保田くんや茨木くんに渡していたのも、自分の恋愛を自慢するようなものだったのかもしれない。

高校、専門学校を通してはそれで満足だった。

しかし社会人になってからはそれでは満足できなくなっていった。社会人になってボクのは感覚はまともになって言ったともいえるが、今度は違うベクトルの方に価値観が意向していったために小説がまったく書けなくなった。

違うベクトル……。

つまり今までは恋愛などは自分とは無縁だと割り切って生活していたのだが、それとは違うベクトルに自分の思いが向いていき、恋愛

をしたい、と強く願うようになり、自分に彼女がないのがとても恥ずかしいように思っていた。

今考えると恥ずかしい価値観である。

でも、これは若気の至りだけではなく、マス・メディアにも原因がある。

TV・映画・本を見ると恋愛物が売れるし、話題になっている。

そんなものを毎日繰り返し見ていると、ボクのような人は極端な例かもしれないが多かれ少なかれ、恋愛しなければなんの価値もないという考えになってしまふ若者は多いのではないだろうか？

この頃は保田くん、多田くん、茨木くんと4人で会えばいつも好みの女性の話をしながら麻雀をしていた記憶がある。

ただ、その時の話は、好きな芸能人の話だったので満足できないことこの上なかった。

社会人になった4人だが、ボクの生活が変わったのは、介護の仕事に就いてからだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1742y/>

恋に恋して

2011年11月3日10時08分発行